

一般国道13号 横手北道路に係る新規事業採択時評価

1. 事業概要

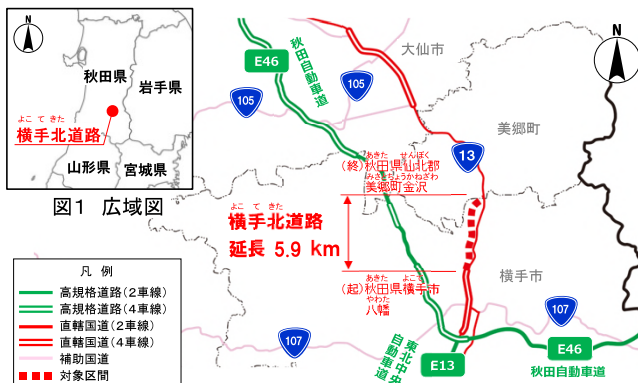


図1 広域図

図2 事業位置図

- ・起終点: 秋田県横手市八幡
～秋田県仙北郡美郷町金沢
- ・延長等: 5.9km
(第3種第2級、4車線、設計速度60km/h)
- ・全体事業費: 約300億円 ・計画交通量: 約18,500台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約14,200台/日	約1,800台/日	約2,500台/日

①路線概要

- ・国道13号は福島県福島市を起点に、秋田県秋田市に至る延長387キロの主要幹線道路。このうち、横手北道路は、秋田県横手市八幡から秋田県仙北郡美郷町金沢に至る延長5.9キロのバイパス及び現道拡幅事業

②事業目的

- ・当該道路の整備により、特に冬期の走行環境を改善し、交通混雑の緩和や安全な交通の安全性を確保
- ・高次医療機関への安定した搬送ルートを確認し、救急医療活動を支援
- ・秋田県央及び県南地域の円滑な物流ルートを確認し、物流活動を支援

③事業実施に向けた検討状況

- ・横手北道路は、上位計画として、横手市都市計画マスタープラン（H31.3月）、東北地方新広域道路交通計画（R3.7月）に位置づけ
- ・地域課題等をふまえ、計画段階評価（R2.10月～R4.11月）において以下の政策目標を設定し、ルート構造を検討

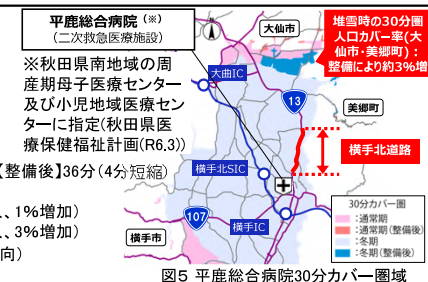
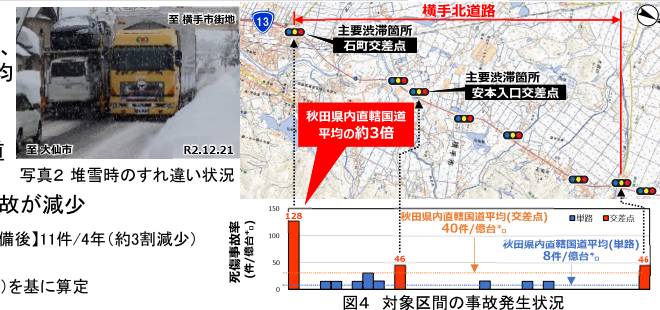
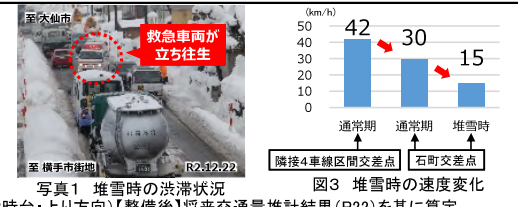
- ①快適かつ安全な交通環境の確保
- ②円滑な物流ルートの確保
- ③安定した救急搬送ルートの確保

2. 評価結果

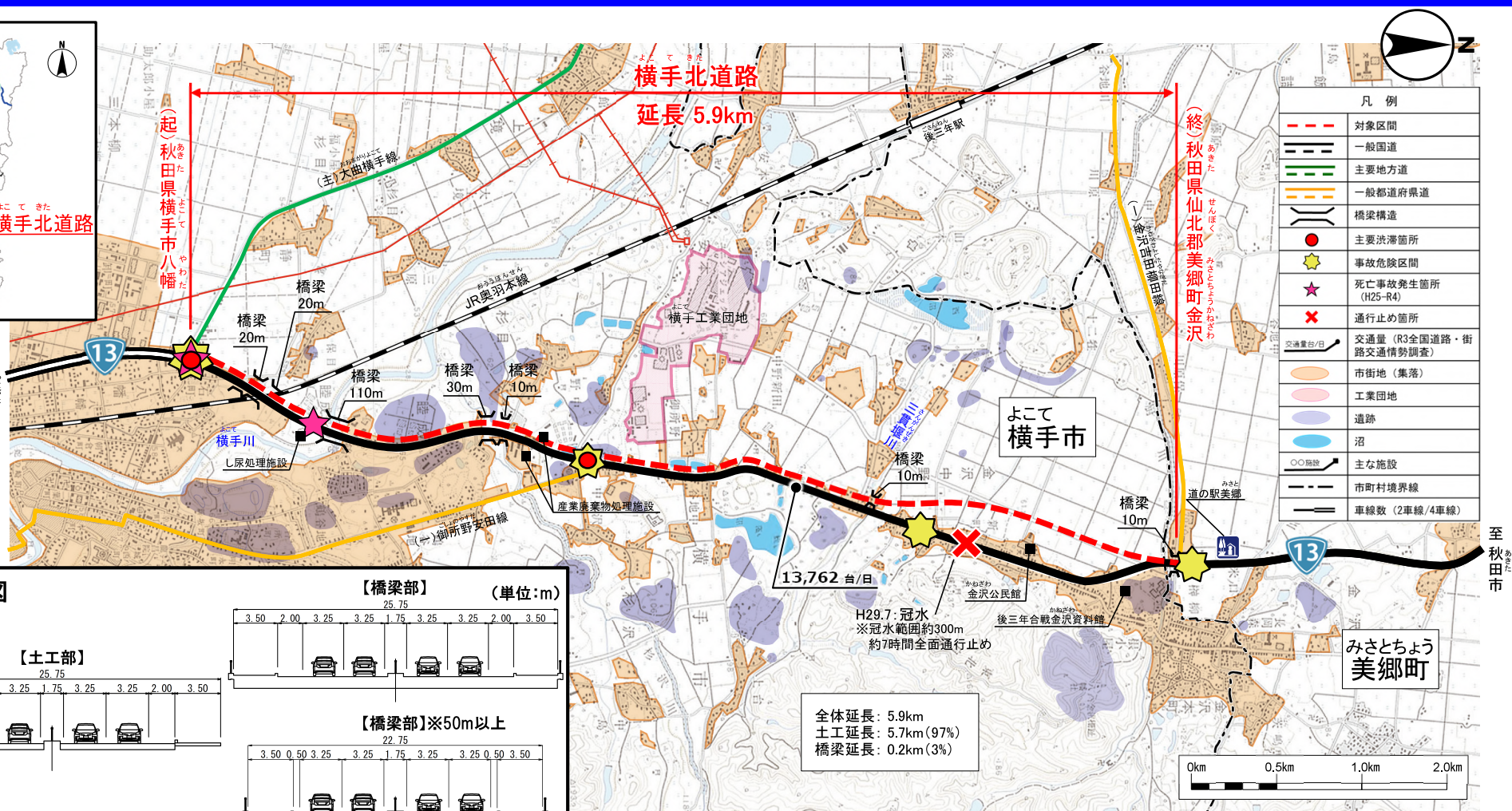
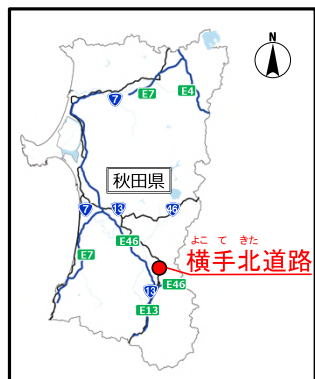
費用便益分析	■費用便益分析結果（貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの）					
	B/C	(参考)※4	EIRR※1	総費用	総便益	
	4%	1.3	1.4	222億円※2	291億円※2	
	[2%]※3	1.9	1.9		走行時間償還性向上便益: 11億円 CO2排出削減便益: 1.6億円	
	[1%]※3	2.3	2.4			

※1: EIRR: 経済的内部収益率
※2: 基準年(令和6年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)
※3: 比較のために参考とすべき値として設定した社会的割引率
※4: 参考として多様な便益を算出

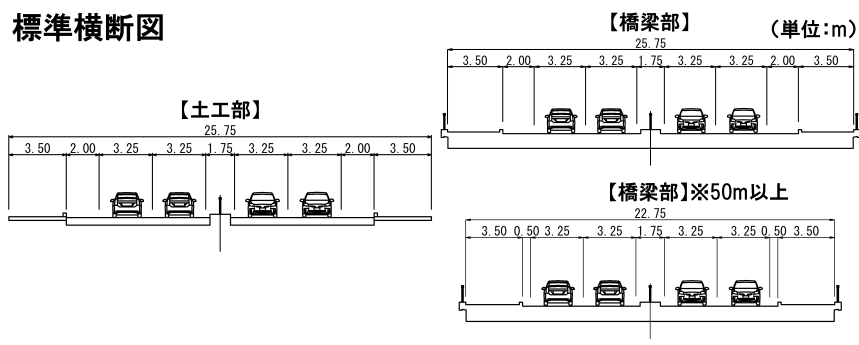
事業の影響	評価項目	評価	内容
自動車や歩行者への影響	渋滞対策 (政策目標①)	◎ 経済成長・物流強化	円滑な地域交通の確保 【課題】交通容量不足により渋滞が発生 特に冬期の路肩堆雪時には著しい速度低下が発生(写真1、図3) 【効果】容量を確保し、交通混雑が緩和 ○国道13号現道の旅行速度 通常時【現況】44km/h → 【整備後】55km/h(11km/h向上) 堆雪時【現況】33km/h → 【整備後】52km/h(19km/h向上) ※【現況】ETC2.0データ(R4.9～11、R3.12～R4.2除雪車稼働日の平日8時台・上り方向)【整備後】将来交通量推計結果(R22)を基に算定
	事故対策 (政策目標①)	◎ 地域安全保障のエンセンシャルネットワーク	交通の安全性向上 【課題】主要渋滞箇所などで事故が多く、死傷事故率は県内直轄国道平均と比べ約3倍高い(図4) 冬期は堆雪による幅員狭小で、車両のすれ違い(写真2)や歩道の歩行が困難 【効果】走行環境の改善により、交通事故が減少 ○死傷事故件数【現況】15件/4年 → 【整備後】11件/4年(約3割減少) ※【現況】ITARDA事故データ(R1-R4) 【整備後】将来交通量推計結果(R22)を基に算定
	歩行空間 (政策目標①)	○	必要な道路幅員が確保され、冬期においても歩行者の安全性が向上
社会全体への影響	住民生活 (政策目標③)	◎ 地域安全保障のエンセンシャルネットワーク	安定した救急医療活動を支援 【課題】冬期は堆雪による幅員狭小や渋滞により、救急車両の追越しが困難となり、安定性・速達性の確保が課題(写真1) 【効果】幅員狭小区間を解消することで、救急搬送時間の安定性・速達性が確保され、地域の救急医療活動を支援 ○大仙市役所→平鹿総合病院への所要時間 通常時【現況】32分 → 【整備後】30分(2分短縮) 堆雪時【現況】40分 → 【整備後】36分(4分短縮) ○大仙市・美郷町の30分圏人口カバー率(R2国勢調査ベース)(図5) 通常時【現況】約16.4万人(59%) → 【整備後】約16.5万人(60%) (1,000人、1%増加) 堆雪時【現況】約13.8万人(39%) → 【整備後】約14.1万人(42%) (3,000人、3%増加) ※【現況】ETC2.0データ(R4.9～11、R3.12～R4.2除雪車稼働日の平日8時台・上り方向) 【整備後】対象区間の速度は将来交通量推計結果(R22)を基に算定
	地域経済 (政策目標②)	◎ 経済成長・物流強化	円滑な物流活動の支援 【課題】冬期は積雪による渋滞により荷崩れの発生や速度低下による納品の遅れが生じ、走行性や定時性、速達性の確保が課題(図6) 【効果】幹線道路の混雑緩和により、速達性が向上 ○当該区間の所要時間 通常時【現況】8分 → 【整備後】6分(2分短縮) 堆雪時【現況】11分 → 【整備後】7分(4分短縮) ※【現況】ETC2.0データ(R4.9～11、R3.12～R4.2除雪車稼働日の平日8時台・上り方向)【整備後】将来交通量推計結果(R22)を基に算定
災害		○	国道13号現道が浸水途絶した場合に、信頼性の高い道路ネットワークを構築 堆雪幅を考慮した路肩幅員の確保により、緊急車両の通行を支援
環境		○	環境(CO2排出量の改善) [CO2排出削減便益: 1.6億円]
地域社会		○	当該事業区間である横手市と周辺市町村との連携を深め、生活・産業を支援



一般国道13号 横手北道路に係る新規事業採択時評価



標準横断面



計画縦断面

